



# みちくさ

放浪篇 No.2

平成 29 年 7 月 19 日

## 新しいカメラが欲しいぞ～

元々フィルムカメラ時代からニコンを使っていました。何種類か交換レンズも揃え、主に忘れてくれないような風景を記録に残すことが写真の醍醐味かなと思い、撮ることを楽しんでいました。担任をしているときには、子どもの表情をなるべく大きな画で撮影したいと思いました。今なら個人情報云々と言われることでしょうか。でも、いきいきとした子どもの顔って、教師だから分かるところがあると思うのです。さて、望遠レンズなら何でもいいかと言うと、教室の広さから逆算すると、300 ミリだと焦点を結ばません。近すぎるのです。ぎりぎり端っこの方に撮影者が立つと 200 ミリで子どもの表情がけっこうよく撮れます。ニコンの 80-200 ミリ ED レンズですが、当時もう 1 台カメラが買える値段でした。購入後、公開冊子の表紙とか、学校要覧の子どもの顔とか、この 200 ミリが活躍してくれたことは言うまでもありません。

そして平成一桁からデジカメの時代に突入しました。まだデジカメが普通に出回る前、アップルから出た QuickTake100 というデジカメがアスキーのモニター募集だったと記憶していますが、それが思いもよらず当選して手に入りました。これは使っていてインパクトがとても大きかったですね。双眼鏡のようなスタイルで写真が撮れて、なんとと言ってもリンゴマークがついているカメラでしたので、使っていて楽しかったです。小学生だった息子がこれを使ってたくさん撮影していました。

自分でデジカメを買おうとした時には、やはり溜まった交換レンズの資産を生かせるようにと、ニコンを選択しました。D-70 というカメラを購入しました。これはなんとまだ自宅で現役です。640 万画素数で、もうスマホのカメラ以下の性能ですが、そこはやはりカメラメーカーのニコンの製品です。しっかり手にもなじんでいるし、故障知らずです。唯一 CF カードの接触でエラーが出るときがあったのですが、これはネットで調べて自分で治しました。

さて、いくら何でも平成 4 年に発売になったデジカメで、もうレベル的にもくたびれているので、そろそろ新しいものが欲しいなと考えるようになりました。選択肢としてメーカーは当然ニコンに絞られてきますね。レンズの資産を生かすことを考えると・・・でも一眼レフというのは重いのですよ。これからちょっと東京の下町をぶらりして写真を撮ってきますというときに、カメラバッグにレンズを何本か入れてとなると、けっこうな重さになります。首からカメラをさげて、ぶらぶら散歩しながらのスタイルと考えると、どうにも悩んでしまいます。

昔のライカのように、しぶいクラシックタイプのカメラが欲しいなと思うのです。軽くてね。ニコンでも Df というカメラがあります。でも、これはフルサイズの一見レフで、ちょっと首から提げてという感じではないです。

そういう時に思い出したのが、女優の宮崎あおいがカメラを提げて歩いている写真。そうだ、ああいうのがいいなと、調べてみたら、オリンパスでした。それも昔フィルムカメラの時に製造していたオリンパス・ペンというカメラと同じ名前です。規格がまるっきり違うので、ニコンのレンズ

はもちろん使えませんが、このオリンパスの小さなカメラがいいなあと、最近思っているところです。こんな小さなカメラでも、一眼レフで、けっこうな機能が満載です。まあ今から買うのであれば、レンズも標準と広角くらいがあればいいし、望遠が必要な時にはニコンを出してくればいいしと、勝手に自分に納得させております。でもまだ買っていません。オリンパス pen-f というのですが、ニコンの最新 DX の一眼レフと同じくらいの値段がするのです。15 万前後でしょうか。値段を考えるとちょっと町歩きにという感じでは無くなってしまふから悩んでおります。

## サイクリングで熊に遭遇？

ニュースを読んでいたら、秋田市の方でサイクリングをしていた男性が熊と遭遇し、足にかみつかれ、その後自分で病院に駆け込んだとか。幸い命に別状はないようですが、怖いですね。自分も山道を好んで走るのので、熊との遭遇ということを想像しないわけではありません。秋田市の山の方で高速道路の近くとありました。

10 年ほど前、私も熊と遭遇しました。秋田に帰省中、秋田中央インター付近で、熊が高速道路に侵入し、左右も見ず横断する姿が眼に入ってきました。雨が降ってきたので、スピードを緩めたのと同時でした。あの時、雨が降らず、そのままのスピードで通過していったら、熊と衝突していたなど、今思い出してもぞっとします。私は秋田北で降りましたが、インターチェンジで切符を処理している方に話したら、「あっ！そうなの？」みたいな反応で、何とも拍子抜けしました。きっと目撃情報が多いのだろうと思います。

自転車に話を戻すと、白石で夕方 5 時頃だったと思いますが、斎川から丸森方面へ登っていく道の途中に比較的大きなため池があるのですが、自転車で気持ちよく通過中、距離にしたら 5m くらい前を、いきなりイノシシが横切り、そのまま藪へ突っ込んでいったことがあります。これも運悪ければ、私の側面に衝突していたところですよ。

野生動物の元々住んでいたところに人間が進出してしまっているのでも、そもそも動物にも迷惑な話なのだと思いますが、でもこのようにいったん遭遇すると怖いですね。私は野生の猿にはよく出会います。これも動物園の猿とは違い、集団で移動しているときなどは、襲われるのではないかという恐怖を覚えます。

毎週よく走る定義山方面ですが、そこへ行く途中、赤坂から大倉へ抜ける山道を通ります。とっても雰囲気の良い場所なのです。でも一步間違えると熊に逢いそうで、その対応策として、スマホからレッド・ツェッペリンの音楽をボリューム最大に流して走行しています。どれほど効果があるか分かりませんが、自衛です。はい！